

令和元年度

児童発達支援自己評価・集計結果

事業者向け

8部配布した結果、8部の回答あり（回収率100%）

西北五広域福祉事務組合
多機能型事業所 みらい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	事業所で決めた改善策・今後に向けて
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事を行い、個別支援を行う部屋も広がっている。 ・個々に合わせて、個別支援や遊びが出来るよう工夫している。 ・個室と支援センターを活用している。 ・個別課題を行える個室がある。 ・十分に対応している。 ・十分対応が出来ている。 	
	②	職員の配置数は適切であるか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人に対して、支援者2名が付いて支援にあたっている。 ・適切である。 ・基準を満たしている。 ・十分に対応している。 ・国の規定人数をはるかに上回る人数確保となっている。 	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事を行った事で、段差がなくなった。生活空間の構造化は行われていないので、今後考えていく必要がある。 ・生活空間は、入口が少し段差があるが、段差部分に斜面が付いている為、ほぼバリアフリー化されていて本人にも分かりやすくなっている。その他、玄関は階段の他にスロープがあり、顔写真NGの利用者の顔は、隠すなど配慮している。 ・玄関のスロープ、身障用トイレがある。また、改修工事により各個室の入り口の段差が無くなった。 ・昨年の改修工事が終わり、個別課題の部屋が新しくなった。個室の入り口は段差がほなく、落ち着いて過ごせるようになった。 ・玄関にはスロープが設置されている他、今年度の改修工事では指導室の段差も取り除かれている。また、個々に応じてプログラムやスケジュールを明確にし、個別課題では集中出来る環境を整えている。 ・玄関にはスロープや部屋の入口の段差など気にならなくなっている。 ・事業所内の改修工事を行った事で、バリアフリー化が実現した。 ・パーテーションの使用を勧め、適宜使用し支援をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度改修工事をし、バリアフリー化が実現しました。

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日掃除を行っていて、静の課題は個室、動の課題は支援センターで活動出来るようになっている。 ・子供達に合わせた空間になっている。 ・毎日掃除を行っている。個室での課題に加え、支援センターでのびのびと活動することが出来ている。 ・毎日掃除を行っているため清潔である。 ・毎日の掃除があり、マットなども敷いていて安心できる空間もある。 ・静の活動は個室での対応、動の活動は支援センターを使用する事が出来ます。 	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎日（長期休暇中以外）事業所内でのミーティングを行って意見を出し合っている。 ・小さなことであってもミーティングで取り上げるように心掛けている。 ・日々のミーティングを通じ、振り返りや改善点等を共有している。 ・ミーティングなどで改善する事の話し合いをしている。 ・良くなった姿、また、気になる行動や支援内容に違和感時にミーティングで話し合っている。 ・ミーティングで話されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加ではなく、参画出来るようにする。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から実施し、結果を基に業務改善に繋がるようにしている。 ・アンケートを実施し、結果を基に業務改善に向けての話し合いがなされている。 ・昨年度からアンケートを実施したことで保護者の意見を把握し、業務改善につなげることが出来た。 ・昨年度もアンケート調査を実施し、結果を基に会議を行っている。 ・保護者向けアンケートを実施し、その結果を職員間で共有している。 ・昨年度より実施。今後評価表を活用したい。 ・改善策を話し合い繋げています。 	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて公開している。 ・ホームページに公開している。 ・西北五広域福祉事務組合のホームページで公開している。 ・ホームページで公開している。 ・組合のホームページに掲載している。 ・集計してからホームページへ掲載する。 ・自己評価を実施したので、今年度中に公開します。 	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・経費等の問題も出てくる為、今後の検討課題だと思われる。 ・現在は行っていない。今後の検討課題である。 ・外部評価は行っていない。 ・現在は行っていないが、今後必要になると思う。 ・現在外部評価は行っていない。これから必要になると思う。 ・現在は行っていないが、今後は必要になってくると思われる。 ・第三者による外部評価は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は受けていません。対応して下さる評価者や費用の面を含めて検討を重ねている。また、専門的なものではないが、交流事業(サクランボ狩り等)を利用し、来訪者からの評価を活用してみても良いのかもしれない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・所内研修や外部研修等、積極的に参加させてもらっている。 ・必要なセミナーや研修に参加する機会がある。 ・全職員に外部研修があった。また、園内研修を実施し職員間で学びを深めている。 ・外部研修、内部研修に参加している。 ・外部研修への参加や内部研修を実施している。 ・外部研修に参加している。 ・内部研修、外部研修に参加している。 	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・計画書等の書式も変更し、保護者や子どものニーズを明確にしなが、計画を作成している。 ・作成している。 ・しっかりとアセスメントしたうえで計画を作成している。また、会議を開き職員で話し合い、支援の方向性を決めている。 ・児童の状況を観察し、保護者の要望も取り入れながら、その子に合った計画書を作成している。 ・子供や保護者の要望を踏まえ作成する。 ・子ども一人ひとりに寄り添った計画書を作成している。 	

⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所独自のアセスメントシートを使用している。 ・今年度からチェック項目式のアセスメントツールを用いた。ただ、放課後等デイサービス利用児童と同じ書式であるため、未就学用の項目に見直す必要あり。 ・新年度の計画書を作成するにあたって、アセスメントシートを作成した。 ・新規で利用する児童にはアセスメントシートを利用している。 ・ガイドラインをツールとして使用している。また、標準化したアセスメント表等を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援利用児童を対象としたアセスメントシートを作成する。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・計画書では本人支援が主となっているが、家族支援も行っている。 ・設定されています。 ・設定されている。 ・児童発達支援計画は、ガイドラインを参考にしながら作成している。 ・設定されている。 ・本人支援が中心になっている計画（計画書）ではあるが、保護者と連携を取ってる意味では、家族支援も含まれている。 	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿って支援内容を考えて取り組んでいる。 ・作成した支援計画に沿って個別プログラムを作成している。 ・個々に合わせた課題設定をし、楽しめる環境設定を心掛けている。 ・要望を検討して行っている。 ・実施している。 	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援に関しては個人で作ることも多いが、集団支援は少人数のチームで意見を出している。 ・事前に課題の進め方について話し合っている。 ・上司に相談したり、サブと意見交換をしながら主担当が作成している。 ・チームではないが、相談して決めることはある。 ・集団活動や行事の際は、チームで行う事もある。個別課題はほぼ担当がプログラムを作成している。 ・チームとして難しい時もあるが、相談し助言してもらったりしている。 ・集団活動のプログラム(クリスマス会)は立案を基に職員全員をチームとして実行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない人数でのチーム作りが難しい状態となっているが、ミーティングを活用しながら共有するように心掛ける。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	<ul style="list-style-type: none"> ・目的が同じようなプログラムでも、飽きないように工夫しながら設定している。 ・得意・不得意な課題、興味を持って取り組める課題等を組み合わせている。 ・上司にも相談し工夫するよう心掛けている。 ・日々の課題内容が偏らないようにしたり、月単位で課題内容が固定化しないようなプログラムを作成している。 ・得意な事、不得意な事を考えながら計画している。 ・教材に関しては飽きがこないように新しい物(手作り)を提供している。また、内容自体を子どもの能力に合わせてながら楽しめるものになっている。 	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は個別活動だが、集団支援の曜日を決めて活動している。 ・特性、性格を考慮したなかで集団活動をプログラムに組み込んでいる。 ・状況を把握し、上司と相談したうえで作成している。 ・個別の他に集団活動も実施し、その中で社会性を養えるような計画も立てている。 ・特性を考えながら計画をしている。 ・特性や性格を把握した中での計画書作成・個別プログラムとしている。 	

⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員での打合せは出来ない時もあるが、主担と副担で確認している。 ・プログラムについて事前に打ち合わせをしています。 ・送迎や支援の関係で、開始前に全職員で話し合うことは難しいが、支援開始前に主担とサブで今日の支援内容や目的について話し合っている。 ・活動プログラムを見て確認している。 ・集団活動の際は打ち合わせをしているが、個別に於いては各担当が個々にプログラムを作成している。 ・送迎があれば難しいが、その後に話し合ったりしている。 ・支援を実施する前に、主担、副担で支援の目的を話すようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でも多くミーティングに参加できるように、曜日に応じてミーティング時間を決めた。 月曜日・水曜日→11:50 火曜日・木曜日→14:00 金曜日→11:35
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・主担と副担で振り返りを行い、必要事項はミーティング等で共有できるようにしている。 ・気付いた点などは伝えるようにしています。 ・ミーティングの中で話し合っている。 ・帰り送迎がある為、当日の振り返り等は難しい。 ・ミーティングを通じて振り返りを行っている。 ・送迎があつたりすると、個々に打ち合わせをしたりして意見を聞いている。 ・支援後、副担の意見を中心に共有し合うようにしている。 ・忘れがちであったため、改善し共有を徹底しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の振り返りは業務日誌を活用する。また、次の日のミーティングで子どもの状態を報告と共に共有するようにした。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌やサービス提供記録に記載し、見直しを行っている。 ・その日の児童の状況を業務日誌に記載するとともに、ミーティングでも気になる点について話し合う機会がある。 ・業務日誌やサービス提供記録に記録し、支援を振り返っている。 ・業務日誌に記入している。 ・業務日誌やサービス提供記録に記載し、改善につなげるようにしている。 ・業務日誌に記入している。 ・繋げている。 	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に見直しを行っている。 ・定期的にモニタリングを行い、他職員の客観的視点からの意見も取り入れている。 ・定期的に会議を行っている。 ・定期的実施している。 ・全職員で行っている。 	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達管理責任者や担当が参加している。 ・相談支援事業所から要請があれば参加している。 ・責任者が参加している。 ・担当や児発管が出席している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・サービス担当者会議とまではいかないが、児相談支援事業所が同系列にあるので、児童発達支援管理責任者が個々の情報共有し、ミーティングで話している。 	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前等に連携を取っている。 ・該当する子がいないため、現在は行っていない。 ・上司が行っている。 ・利用者が通っている保育園、こども園等との連携を取りながら支援を行っている。 	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳を通して、保育所等と情報共有出来るように配慮している。 ・送迎時、状況や行事などの情報を共有している。 ・現時点では行っていない。 ・送迎時や連絡帳を通して情報交換をしている。 ・必要に応じて情報交換を行っている。 ・情報共有をしている。 ・移行支援の意味では、年長組の利用児が通っている保育園等での情報共有と相互理解を図っている。 	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在は行っていないが、依頼があれば行える体制が出来ている。 ・現時点では行っていない。 ・必要に応じて情報交換を行ったケースもある。 ・要望があれば対応する体制は整っていると思われる。 ・要請があった場合は即対応できる。 	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加している。 ・外部研修に参加している。 ・代表で外部研修に参加しているが、まだ参加した事がない。 ・内部研修で講演をもらった事がある。 ・研修は順番に参加している。 ・研修の中に青森県発達障害者支援センターの方の講演があれば、代表者が参加している。 	

②⑥	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・サクランボ狩りや栗拾いなどで近隣の保育園との交流を行っている。 ・サクランボ狩りや栗拾いなど、交流の機会があります。 ・サクランボ狩りや栗拾いを通して、他こども園との交流を行った。 ・サクランボ狩り交流会を実施した。 ・現在は主にこども園との交流を行っている。今後活動の幅を増やしていきたい。 ・サクランボ狩りなど交流の場を設けている。 ・サクランボ狩り、栗拾い等の交流の場を設けている。 	
②⑦	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・2月に行われる、つがる西北五広域連合地域自立支援協議会 児童・療育部会に参加する。 ・今年度は今後参加予定である。 ・児童発達支援管理責任者が参加した。 ・組合の相談支援事業所が多く参加している。その情報を事業所内で共有している。 	・参加した。
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・主に連絡帳を通して行っている。 ・送迎時や連絡帳を介して行っている。 ・利用時、連絡帳に記載している。また、毎月1回行動観察記録を作成し、保護者へ見せている。 ・連絡帳や送迎時に保護者さんと情報を共有するようにしている。 ・連絡帳などを介して行っている。 ・密に取るようにしている。 	
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で対応できない時は、上司に相談して行うようにしている。 ・自分ひとりの判断で助言出来ないことは、上司に相談しながら進めている。 ・上司に相談している。 ・専門的なペアレントトレーニング等は実施していないが、必要に応じた助言等を行っている。 ・ペアレントトレーニングまでいかないが、上司に相談して助言をしている。 ・家庭での状態を聞きながら、保護者が分かりやすいように丁寧に説明を繰り返している。 	

	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている。 ・利用前の段階で説明しています。 ・担当が行っている。 ・契約時に分かりやすく説明している。 ・契約時に行っている。 ・契約時に行く。 ・契約時に説明している。また、随時、保護者からの問い合わせに答えている。 	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に説明している。 ・説明をし、同意を得ている。 ・計画書を提示し保護者へ説明している。 ・同意を得ている。 ・支援内容については、計画書を基に丁寧に説明している。 	
の説明責任等	⑫	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・自分で対応できない時は、上司に相談して行うようにしている。 ・児童発達支援管理責任者や職員間で連携を図りながら、必要な助言や支援を行っている。 ・上司に報告し、対応してもらっている。 ・その都度行うようにしている。 ・児童発達支援管理責任者に相談したりして助言を行っている。 ・実際に会って話したり、連絡帳を介して助言を行っている。 	

③③	<p>父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している</p>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会を行い、日時や時間帯を変えて2回目も開催した。その際保護者同士の連携も取れるよう配慮している。 ・現在父母の会の活動はないが、第2回保護者説明会の際に話し合いの結果を基に今後検討していく予定。 ・現在父母会はない。保護者会は年に2回開催している。 ・父母の会はない。施設見学を兼ねた保護者説明会は実施したが、昨年度に比べ参加人数は増えた。 ・昨年度から『保護者説明会』は実施しているが、保護者会の結成にまでは至っていない。 ・父母会を開催して情報共有している。 ・父母の会の設置までには至っていない。保護者説明会を年2回開催したが、事業所側の議題による説明や質疑応答が中心であったので、何かしら保護者同士が連携出来るような内容を設定してもいいのかもしれない。 ・事業所説明会を催し、促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会は4月と12月の2回開催しました。
③④	<p>子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p>	8		<ul style="list-style-type: none"> ・体制は整備されており、迅速に対応できている。 ・迅速に対応するよう努めている。 ・迅速に対応している。 ・迅速に対応するように心がけている。 ・即対応を心がけ、実施している。 	
③⑤	<p>定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか</p>	8		<ul style="list-style-type: none"> ・月別の利用予定を通して行事予定を発信し、みらい新聞で活動概要等を発信している。 ・広報誌「みらいしんぶん」を通して発信しています。 ・広報誌『みらいしんぶん』を通して発信している。 ・年に2回、みらい新聞を発行している。 ・年に2回新聞を発行している。 ・年2回「みらいしんぶん」として発信している。 	
③⑥	<p>個人情報の取扱いに十分注意しているか</p>	8		<ul style="list-style-type: none"> ・十分に注意して取り扱っている。 ・不要になった書類などは、シュレッダーにかけています。 ・書類等の扱いには気をつけている。 ・十分に注意している。 ・不要物はシュレッダーにかけている。 ・廃棄物はシュレッダーに掛け、事業所を一步出たら業務関係の話題は一切していない。 	

③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションボードを作ったり、ビジュアルを用いて行っている。 ・送迎時、気になった事などの情報は伝えるようにしています。 ・障害の特性に配慮しながら、ビジュアル等を取り入れて支援している。 ・配慮している。 ・声掛けなどをするようにしている。 ・子どもの特性を把握しながら、その時の思いや願いを感じ取り、その旨、対応している。保護者には特別何かあった時ばかりではなく、普段から言い合える関係を整えるように気を配っている。 	
③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・共催行事である森田学園祭や近隣の保育園との交流会を行っている。 ・学園祭には、地域住民も参加しています。 ・森田学園祭や栗拾いに招待した。 ・組合で実施する『森田学園祭』や『交流会』を通じ、地域の方を招待している。 ・学園祭に招待している。 ・協賛行事である森田学園祭には、地域住民に開放している。また、交流事業（サクランボ狩り・栗拾い）を通じ、児童や老人を招待している。 	
③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・職員には周知徹底されている。保護者には契約時と保護者説明会にて周知している。訓練は年に2回行っている。 ・緊急時の対応として危機管理マニュアル等の研修を受けている。 ・職員は研修等を受けている。保護者は保護者説明会で説明した。 ・職員間では周知しているが、今後保護者にも広く周知していきたい。 ・分かるように目の届くところに置き、訓練をしている。 ・職員に周知し、訓練を行っている。保護者には契約時に加え、周知出来るよう保護者会時に発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に感染症マニュアル等を見せながら保護者説明会の際に伝え続けていく。
④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、避難訓練を行っている。 ・総合防災訓練を行っている。 ・年2回避難訓練を行っている。また、職員は月1回消火訓練をしている。 ・年に2回総合防災訓練を行っている。月1回は職員の消火訓練がある。 ・避難訓練（年2回）や職員の消火訓練（毎月）を定期的に行っている。 ・年に2回避難訓練を行っている。 ・避難訓練は年2回実施している。また、職員による消火訓練は毎月実施している。 	

非常時等の対応	④①	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年書いてもらう「家庭調査票」に昨年度の課題であった予防接種の欄を追加し、状況を確認している。 ・事前に保護者に確認している。 ・服薬、予防接種はその都度確認している。てんかん発作等も保護者から連絡してもらっている。 ・アセスメント表を作成する際、確認している。 ・保護者に確認している。 ・今年度から家庭調査票に予防接種に関する項目を増やした事で把握出来るようになった。服薬やてんかん発作等は開所当時から継続的に行っている。 	
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は食物アレルギーのある児童は利用していない。 ・現在食物アレルギーの児童はいない。 ・現在該当する子がいない。 ・現在該当児童がいないが、必要であれば対応する必要がある。 ・食物アレルギーのある児童は現在利用していない。今後必要に応じて対応していく。 ・現在いないが、必要があれば対応できる体制であると思われる。 ・現在、食物アレルギーの利用者がいない。今後、新規利用児がアレルギーを持っていた場合に適切に対応する。 	
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・共有して、再発防止に努めている。 ・朝の朝礼時、ヒヤリハットについての報告があり、情報は共有されています。また、職員会議にて、ヒヤリハットをまとめたものを発表しています。 ・報告書をもとに再発防止策を話し合い、共有している。 ・全職員で共有し、再発防止の為に確認し合う。 ・事例を共有し、再発防止に努めている。 ・共有し再発防止に繋げている。 	
	④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に所内研修、外部研修に参加させてもらっている。 ・虐待防止の研修を受けています。 ・外部研修に参加したり、園内研修でも必ず取り上げている。 ・研修会に参加している。 ・外部研修への参加や内部研修を実施している。 ・研修に参加している。 ・全職員を対象とした内部研修を実施している。また、外部研修にも参加している。 	

	④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在対象児童はいないが、契約時に十分説明している。 ・やむを得ず身体拘束する場合は保護者の同意を要するが、現在は身体拘束をしない対応となっている為児童発達支援計画に記載していない。 ・現在該当する子はいないが、必要な場合は保護者へ説明し、同意書に署名捺印をいただくことになっている。 ・現在、該当児童はいないが、必要であれば行える体制を整えている。 ・児童発達支援利用児童に於いて、このような事例は無いが、放課後等デイサービスでは、同意書を作成し、サインと捺印を頂いた事例がある。 ・子供の様子を伝え同意書を取ると思われるが、今現在は対象児はいない。 ・子どもの姿をありのまま保護者へ伝え、納得していただいた上で計画書と一緒に同意書を取る事になっているが、対象児はいない。 	
--	---	---	---	---	---	--

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。